



こども若者★いけんぷらすの結果について

令和7年12月16日

第66回

青少年インターネット環境の
整備等に関する検討会



こども家庭庁成育局安全対策課

開催概要

テーマ	みんなどうしてる？もっと安心してネットを楽しむコツ
開催日	令和7年9月27日（土）
開催場所	住友不動産麻布十番ビル
参加者	小学生10名、中学生2名、高校生年代8名
質問内容	<ul style="list-style-type: none">・インターネットを安全に利用するためのことを、小学生や中学生に伝える時、どのような方法がいいですか？・インターネットを安全に利用するためのことについて、どんなことが知りたいですか？・インターネットの会社の人たちに、聞いてみて、いいなと思った機能は？・こんな機能があったらもっといいのに！と思うことはありますか？・みんなが気持ちよくインターネットを使うためにどんなこと（情報モラルなど）が必要だと思いますか？・インターネットを安全に利用するためのことについて、みんな（他のこどもや他の人）に伝えたいこと。・おとなが心配していることについてどう思うか。



そもそも…
みんなはインターネットをどう使ってる？



1. インターネットの会社の人たちに聞いてみて、いいなと思った機能は？ また、普段使っていておすすりめしたい機能は？（管理・制限編）

集中モード

- ・集中モード。集中モードを自分で決められて、例えば帰ってきたらすぐに勉強（するように仕向ける）感じ。（小学生）
- ・集中モードを使うと、メッセージやメールの通知を抑制できる。着信を留守番電話にしたり、自動拒否も設定したりできる。よく使うのは、睡眠モード。特定の電話番号のみ着信を許可できる設定もできる。（小・中学生）

広告非表示

- ・検索エンジンアプリで「リーダーを表示」というボタンがあり、広告も出ないし、読み上げもできる。（小学生）
- ・気をそらす項目を非表示は今まで知らなかった機能で、便利だと感じた。検索サイトで広告を批評したり、見たくない情報を非表示にできたりする。（高校生年代）

年齢制限

- ・かけ算の問題を出されて、「ほんとに〇〇歳ですか？」と表示されたりする。（小学生）
- ・年齢制限もできる。親（が設定できる）。不適切な、年齢によって見てはいけないものを除いてくれる（機能）。（高校生年代）

利用時間調整

- ・先ほど事業者の方から動画視聴サイトで1時間に1回「15分間の休憩を取りませんか」みたいなのがインターネットのアプリの方から来るというのを聞いた。そういうのができたらいいなと思う。（小学生）
- ・テスト期間中に勉強する時にスマホを触らないよう防止できるのがよかった。（高校生年代）
- ・スクリーンタイムは小学生の頃、夜10時には（スマホの利用を）止められるようにされていた。（スクリーンタイムは）不眠を防止できたり、アプリごとに設定できたりする点が良い。（高校生年代）

こども向け動画視聴サイト

- ・動画視聴サイトで、不適切な動画が流れてくるので、規制や設定で制御できるという機能。親が管理する仕組みや、こども向けの専用サイトがあるなど。（小・中学生）

通報

- ・良いと思ったのは、「これは良くない」と思った動画をすぐ通報できる機能。動画視聴サイトの運営側で対応しきれない場面がある。視聴者目線で運営に報告できるのはいい。（高校生年代）

1. インターネットの会社の人たちに聞いてみて、いいなと思った機能は？ また、普段使っていておすすめしたい機能は？（便利ツール編）

翻訳

- ・日本語に翻訳という機能があって、外国語の記事が読めないときに、その機能を使うと読めるようになるから、おすすめしたいと思った。（小学生）
- ・翻訳。海外の新聞を翻訳して簡単に読める。（高校生年代）

パスワード管理

- ・パスワードマネージャー。パスワードを登録するときに、「保存しますか？」と出て、保存すると記録できて、別のパソコンから使用されているとメールしてくれる。（小学生）
- ・スマートフォンだとパスワードにキーチェーンがあり、キーチェーンが登録されているウェブサイトかどうかでフィッシングURLを確認することができる。パスワードと登録したウェブサイトとユーザー名を全て紐づけてくれて、顔認証だけで認証してくれる。ウェブサイトごとにパスワードが漏れている可能性があるよ、このパスワードは使い回しているから変えた方がいいよと教えてくれる。最近それを知って全部のパスワードを変えた。（高校生年代）

読み上げ

- ・文章を読み上げてくれる機能。（高校生年代）

情報の信頼性チェック

- ・コミュニティノートのようなデマ情報を一般の人たちが間違っている部分を指摘する機能。コミュニティノートが作成されると、その投稿の欄に勝手に表示されるので、デマを防げる。（高校生年代）

位置情報

- ・親が位置情報を見ることができる（機能）。電車で寝過ごして結構先の駅に行ってしまった時に、親から連絡がかかってきようやく気付いたので助かった（ことがある）。（高校生年代）



2. あったらしいのに！と思う機能・仕組みは？

発信時のチェック機能

- ・スマホを使用している際に、SNSに誹謗中傷を書き込もうとしたときに「それは良くない」と警告してくれる仕組みがあれば、良いと思う。システムであれば、しょうがないかと受け入れることができる。スマートフォンの使い方を学ぶことができるスマートフォンのような（ものがあればいいと思う）。（高校生年代）
- ・良くない言葉や住所などの情報を投稿しそうになったときに、それ危ないよやよくない言葉だよみたいなのが出てきたら1回考えられると思った。（高校生年代）

大人の見守り

- ・お母さんがいないときに、こっそりゲームとかをやる人がいる。自分のお友達のお兄ちゃんが怒られた。同級生の女の子は、ゲームとかをしたら、すぐそのデータがお母さんの携帯にメールで送信されて、それでお母さんが今（こどもが）どうしているかが把握できる。変なものを急に（検索したり）、人殺しの動画とか変なものを見ていないかを（見れたら良い）。（小学生）
- ・先生のタブレットからみんながやっていることがわかる（機能）。（小学生）



第三者機関・窓口

- ・性的表現や明らかに青少年にふさわしくない広告は、広告の配信側に問題がある。そうした**広告の通報**や**問題提起の窓口**や機能を追加してほしい。（高校生年代）
- ・**中間機関が必要**。行政、都道府県、市区町村の教育委員会に小規模でも**窓口**を設ける。学校の対応が不十分なときに、**匿名でも通報**できるとありがたい。本人だけでなく**周りからの通報**も可能にする。学校では動かない場合がある。教育委員会に通報を出すにも、どこに出せばよいか分からない。**大人でなくても分かりやすい窓口**があるとよい。（高校生年代）
- ・**刑事事件化せずとも動いてくれる存在**があると良い。学校を飛び越えて事件化する前に、間の処理をしてくれる人。（高校生年代）
- ・**広告も同じように通報機能**が欲しい。（高校生年代）

アカウント使い分け

- ・アカウントを発信用に複数持っている。SNSのアカウントを趣味と一般で分ける。例えば、趣味の発信と、そうでない発信を分ける使い分けをするようにしている。使い分けると、趣味の友達が増える。一方で、学校の友達や知人とも分けられる。**趣味で固まることで相手に合わせて発信**できるので、**相手が楽に受け取れてよい方法**だと思う。（高校生年代）

3. インターネットを使っていて怖いと思うことは...

個人情報の流出

- ・ 友達が無料の Wi-Fi を使って、**個人情報**がばれてしまった。
(小学生)
- ・ SNSで**顔写真**が出てるのが怖いと思う。(小学生)
- ・ 自分の友達が授業中に**学校の端末で動画視聴サイトに投稿したところ、周りの人に場所を特定されてしまい先生にとっても怒られていて危険だと思った。授業中に撮るのはダメだね、誹謗中傷もあるかもしれないし、(個人情報の) 特定されていることはいけないことなので(学校で動画を投稿するのは) ダメだと思う。(高校生年代)**
- ・ SNS で他の人となつがって、**グッズ交換などで住所を教えたりすることがある。住所がばれるため**そのような行動は、心配される。
(高校生年代)

いじめ・誹謗中傷

- ・ SNS でいじめを受けていた。**誹謗中傷**。全く知らない人が絡んできて、それを引いて(見ていて)面白がってくる人もいる。(高校生年代)
- ・ いじめられている時に自分の写真を勝手にあげられて、**誹謗中傷を受けた。**(高校生年代)

健康面の心配

- ・ **こどもの成長という面では、睡眠不足など(もあると思う)。**
(高校生年代)

インターネットを利用した詐欺

- ・ **フィッシングやワンクリック詐欺**。そういう詐欺があるから、**公式ドメインかどうかを確認するべきだ**と思うが、高齢者は知らなくてドメインを見分けるのが難しいと思う。だから、**ファイアウォールやDNSなどのセキュリティ機能を端末に導入することを勧めたい**と思う。(小・中学生)
- ・ **詐欺に引っかかりそうになったことがある。スマホをもらったばかりの頃、ポータルサイトから「無料でそばやうどんがもらえる」という応募が来た。その時は本物のその会社で安全なものだったけど、同じようなメールが詐欺業者から来ていたら、個人情報を渡していた可能性がある。危なかったと思う。**(小・中学生)
- ・ **ワンクリック詐欺**などで、ボタンを押すとお金がもらえるなどうたい、**個人情報が流出することを心配している**と聞いたことがある。
(高校生年代)

なりすまし

- ・ **友達が SNS 上にフェイクアカウントを作られたことがある。メッセージアプリで、本人のアカウントに酷似した偽アカウントが作られた。写真や背景、紹介文を真似するだけで、ぱっと見では見分けがつかない。怖いと感じる。誰でもできてしまうので怖い。仲の良い人は繋がっていたりして見分けられるが、アカウントが混同される恐れがある。自分が言っていないのに、自分が言ったことにされる等の成り済ましに近い。そうした話を聞いたことがある。**(高校生年代)



4. みんなが安全・快適にインターネットを使うためにはどんなことが必要？

情報の真偽の確認

- ・全部信じるのではなく、嘘とかもあるから（リアルで）人にも直接聞いたりする。（小学生）
- ・インターネットは便利だが、必ず安心安全なわけではない。心配なこと、いやなことある。今後は全部を信じるのではなく疑ってみる。（小学生）
- ・詐欺やデマ（への対応が重要である）。例えばバイトの詐欺であれば時給が高いことで引き込まれることがあるので、デマ同様に疑ったらまず調べてみるのが大切。AIを通すでもいい。正直、いまは人間の考え方よりAIの方が高度なので、自分が信じているからだけでなくAIでファクトチェックするのがよい。（高校生年代）

慎重に発信

- ・一回（世に）出してしまったことは消せないから、むやみやたらに出さない。（小学生）
- ・インターネットで一回投稿したものは拡散されていって、システムに残るかもしれないから、投稿する前にもしっかり確認したほうがいいと思った。（小学生）
- ・周りの人のことを考えながらネットを使うべき。相手がどういう風に思っているかを考える。（高校生年代）
- ・身近な人との直接的な喧嘩やいじめが発生しやすい。グループから外すなどがある。SNSでのストーカーなどよりも、メッセージアプリの方が聞く。外向きのネットリテラシーは学ぶが、内向き（身近なコミュニティ）のネットリテラシーは重視されていないと感じる。（高校生年代）

制限・ルール

- ・変なアプリを触らない、入れない。（小学生）
- ・ちゃんとルールとかけはじめをつけている。長時間やらない、ゲームをやりすぎない、ゲームを近くで見ないとか。（小学生）
- ・早い段階から（こどもが）自分で（スマートフォンの使い方などを）制限することができないと考えるため、一番身近にいる大人が制限・管理をする方が良いと思う。（高校生年代）
- ・一方的な管理ではなく、話し合ったうえで約束を決めて使用するべきだと思う。もう少し長く使いたいとなった際なども、一方的にダメというのではなく、なぜ長く使いたいのかといった理由を話し、決まりをその都度話し合っただけで変えてほしいと思う。（高校生年代）
- ・大人がどれぐらいまで管理していいかをメッセージアプリはしっかり理解しておく必要がある。例えば自分の場合、位置情報を常に見られているため、ここに行くかと伝えていない場所に行くことと今そこにいるのはどうしてかと連絡が急にすることがあった。これは一種のプライバシー侵害であると思う。スマホのロック番号を自分で決めたが、親に番号を共有しないといけず、スマホの中を見られたことがある。（高校生年代）

個人情報の管理

- ・例えば万博のチケットを購入する際などの利用規約には全部読むとともに時間がかかるが、（読まずに同意は）気を付けた方がいいと思う。万博のチケットでは個人情報が他社に提供される可能性があること記載があった。（規約を読んでいなくて）サービスから（個人情報が）他社にわたっても法律上は同意してますよねになってしまう。（高校生年代）

5. みんなが安全・快適にインターネットを使うために、みんな（他の子どもや他の人）にどんなことを伝えたい？

意識改革

- ・ 大人が知らなければどうにもならない。政府の上に立つ人たちも含め、インターネットの知識をつけると良い。そうすると正しい政策ができると思う。今はインターネットを使う人も多し、極端な政策は批判を招くと思う。今の世の中に合わせた決まりを作っていくことが重要。
（小・中学生）
- ・ 結局はインターネットを使うのは個人だから、その人がどれだけ注意して意識するかによる。だから、1人1人のみんなに伝えていく必要がある。
（小・中学生）
- ・ こういうことを伝えることを職業としている人もいる。でも、伝えるだけでは影響が少ない。まずは大人が知識をしっかり付ける。その後、後の世代へ伝えていく。
（小・中学生）

インターネットの危険性

- ・ 人の悪口を言ってはいけないと思う。（小学生）
- ・ 教科書とかみんなが身近に見るものに、「インターネットの悪い広告に気を付けて」（という記載を加える）。（小学生）
- ・ どれだけ危険かをしっかりみんなが理解してその上で注意してインターネットを使うことが大事。（小・中学生）
- ・ 1番危ないことは、「自分は大丈夫」と思うこと。自分は大丈夫と思っている人が一番多いのではないか。誰でも引かかる可能性があると思えることが重要。絶対はない。いつどこで起こるかわからない。
（小・中学生）
- ・ 世界中で気軽にインターネットが使えるけど、もっと怖いものだと改めてみんなが知っておくべき。みんなが分かっていたら、被害は減ると思う。
（小・中学生）
- ・ SNSにはアルゴリズムがあり、自分立場に有利な情報ばかりに偏ることは伝えた方がいいと思う。（高校生年代）

管理・制限・ルール

- ・ 目の健康とかも気を遣って、使う時間を守ってほしい。学校ではタイピングが人気でずっと使っている人がいる。（小学生）
- ・ インターネットとかSNSを見すぎない。（小学生）
- ・ きちんと話し合っ、規制やフィルターや制限時間を付ける。（小・中学生）
- ・ 事業者や機器で設定できることをもっとみんなに伝える。特に、時間制限は有効なのでしっかり設定して使い過ぎないようにする。（小・中学生）
- ・ 時間制限の機能の存在を親にも知らせることが必要。（小・中学生）
- ・ 自分のクラスでも、最近友達盗撮される被害の話聞いた。学校は基本的に校内でスマホの使用禁止だが、実際には守られないこともある。（高校生年代）



6. みんなが安全・快適にインターネットを使うためのことを小・中学生に伝えるとき、どのような方法がいい？

啓発コンテンツ・広報

- ・ショッピングモールのモニター、CM。(小学生)
- ・動画視聴サイトで。(人気動画クリエイターとコラボ、動物とか出てくる。)(小学生)
- ・学校でチラシの配布は有力。(小・中学生)
- ・体験できる場所は現時点でもあるかもしれないが、知られていない。国などが広報に力を入れて拡大し、こどもの教育につなげるべき。知られていない。宣伝されていない。(小・中学生)

保護者の管理

- ・学校でも多少扱うけどたまにで、年に2回程度。だから保護者がしっかり管理することも必要だと思う。(小・中学生)
- ・小学生だとスマホの使い方をよくわかっていないと思うので、親がルールを作ったり、学校で使い方を教えてもらったりしてから使うのがいいと思う。自分の学校はさっき(講演いただいた)のインターネット事業者さんみたいに、事業者の方が来てネットリテラシーに関する講演会があった。ネットの使い方を学校の授業で扱う際に、お堅い話や使わないようにしようというようなネガティブな説明では内容があまり入ってこないし、いい印象を持たせない話し方になってしまう。授業でやるとよくないところもありがちなので、親に教えてもらえるのがベスト。気を付けましょうばかり言うと他の子に比べて使わない子が出てきてしまい問題になってしまうそうでもある。いいように使っていれば損はないので、教え方(を気を付けること)によって悪いものだと思わないようにしたい。(高校生年代)

ネットリテラシーの授業

- ・動画よりも誰かが(学校などに)来てくれた方が分かりやすい。(小学生)
- ・一番詳しいのは、インターネットを提供する会社の人。今はこども向け教育が中心だが、大人にも伝えていくことで、インターネットの危険性は下がる。(小・中学生)
- ・高校から情報の授業があるけど、中学からあっても良いのではないかな。高校に行かない人もいるから、中学校でも小学校でも良い。(小・中学生)
- ・小中学生であれば、使い方などは薄々わかっていると思う。でも(良くないことも)やってしまうため、深刻に(実際に起こった悪い)体験やエピソードを聞かせる必要があると思う。(高校生年代)
- ・業者や政府を招いて、ネットリテラシーの授業を取り組むのはどうか。月に1回とかやってもらう。サイバーパトロールや行政の事例を、学校の生徒全体に教えるのが良いのではないかな。(高校生年代)

体験型の講習

- ・全員に一度に教えるのは難しいけど、講習とか簡単に学べる場を積極的に開いていくと良い。(小・中学生)
- ・学校に、企業の人に来て話す機会はあるけれど、話を聴くだけになりがち。自分で経験しながら学ぶことが良い。(小・中学生)
- ・こどもが経験できる機会を増やして、1人1人の意識を高めることが良い。(小・中学生)
- ・インターネット事業者などが講演を行うが、ただ画面を投影するだけなど、アナログで行う(ことが多い)。現在は1人1台端末があるのだから、スライドを画面共有したり、こども向けに教えることができるデモ画面を用いたりすることもできる。座学よりも、体験を通じて学ぶほうが理解は深まりやすいと思う。(高校生年代)



今後の予定等

今後の予定

インターネット利用について子どもと一緒に考え、子どものネットリテラシー向上に資するコンテンツをこども家庭庁のこども向けサイトに作り、子どもに届ける。

参考URL

- こども若者★いけんぷらす 特設サイト

<https://ikenplus.cfa.go.jp/>

- 資料・フィードバック

<https://ikenplus.cfa.go.jp/announcements/fvqsljbiczygcb9>

